

特別企画：新型コロナウイルス感染症に対する兵庫県企業の意識調査（2020年3月）

企業の81.6%が業績に「マイナスの影響」

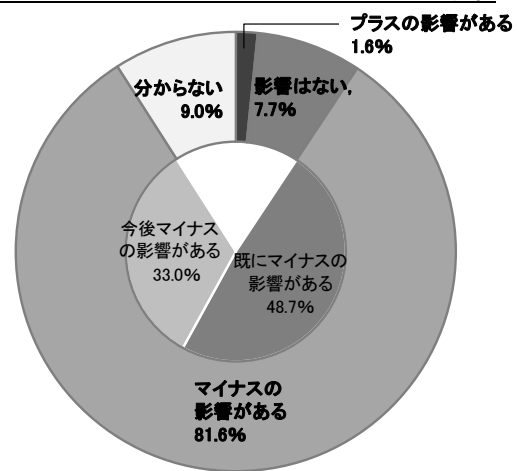
～ 全業界で「既にマイナスの影響」の割合が増加 ～

調査結果

1. 新型コロナウイルス感染症による自社の業績への影響について、『マイナスの影響がある』¹と見込む企業の割合は81.6%にのぼった。「影響はない」とする企業は7.7%だった一方で、『プラスの影響がある』²と見込む企業は1.6%にとどまった。なお、前回調査（2020年2月）との比較では、『マイナスの影響がある』と見込む企業の割合が16.4ポイント増加し、感染拡大とともに企業業績への影響が広がりつつあることが分かる。

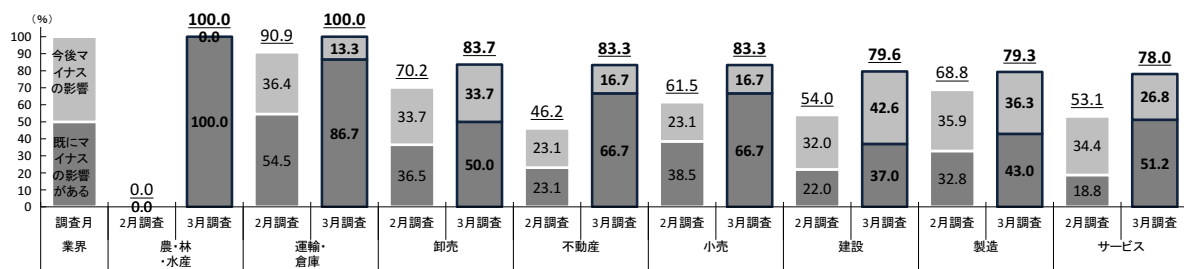
2. 『マイナスの影響がある』と見込む企業を業界別にみると、『農・林・水産』『運輸・倉庫』をはじめとする5業界が8割を上回り、最も低い『サービス』（78.0%）でも7割を超えた。前回調査との比較では、全ての業界で「既にマイナスの影響がある」の割合が増加し、とりわけ『運輸・倉庫』『不動産』『サービス』の増加が目立った。

新型コロナウイルス感染症による業績への影響



注：母数は、有効回答企業376社

業績に『マイナスの影響がある』割合 ～ 業界別 前回比較～



注1: 下線の値は『マイナスの影響がある』(「既にマイナスの影響がある」と「今後マイナスの影響がある」の合計)の割合
注2: 小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも一致しない

調査期間：2020年3月17日～31日（「TDB景気動向調査」〈2020年3月調査〉とともに実施）

調査対象：兵庫県内に本社を置く770社 有効回答企業数：376社（回答率48.8%）

なお、新型コロナウイルス感染症に関する調査は、2020年2月に続き、今回で2回目。

¹ 「既にマイナスの影響がある」と「今後マイナスの影響がある」の合計

² 「既にプラスの影響がある」と「今後プラスの影響がある」の合計

近畿（2府4県）における企業の声

業界別	企業の意見（新型コロナウイルス感染症による影響など）
農・林・水産	・ 価格の低迷（農林水産業協同組合（他に分類されないもの）、和歌山県）
金融	・ 店舗に来店されるお客様の減少および催事の開催中止・延期により、売り上げが減少している（投資業、大阪府） ・ 「巣籠もり」による消費の大低迷（クレジットカード業、大阪府）
建設	・ 中国での製造が低迷している状態で、部材の納品が少しずつ遅れてきている（電気工事、奈良県） ・ 社会全体の設備投資意欲が低下するため投資計画が中止・変更になる（電気工事、兵庫県） ・ 現状は特に影響はないが、長期化すると資材や人材の確保ができなくなる恐れがある（建築工事（木造建築工事を除く）、京都府）
不動産	・ リゾート施設への今後の影響が懸念される（建物・土地売買、大阪府） ・ イベント中止による臨時警備の減少や、クライアント収支悪化による修繕工事の減少など（不動産管理、兵庫県） ・ 早期に収束しなければ、商業施設を運営する同業他社も含めて、テナントの倒産などを引き金に非常に深刻な影響を及ぼす可能性がある（不動産賃貸、大阪府）
製造	・ 外出控えや買い控えによる消費の低迷（寝具製造、滋賀県） ・ コロナウイルスによる中国を中心とした海外生産停滞により国内での応援生産の一時的な受注増がある。一方で、部品調達難によるメーカーの生産減少事例が出始めている（プリント回路製造、滋賀県） ・ 建築資材（住器設備）の納期が未定のため、工事計画の見直しが必要（建設用金属製品製造、兵庫県）
卸売	・ レストラン、インバウンド需要における水産物の需要大幅減が見込まれる（生鮮魚介卸売、大阪府） ・ ホテル不振による地価下落。催事・販売会の不振や中止。フィットネスクラブ会員数の伸び悩み（織物卸売室内装飾繊維品を除く）、京都府） ・ 飲食、ホテル、学校関連の流通が著しく落ち込む（食肉卸売、和歌山県）
小売	・ 中国の提携工場が春節が終わっても稼働せず在庫がなくなり2、3月の売り上げが大幅に減少した（その他の各種商品小売、大阪府） ・ 葬儀や法要、結婚のイベントが自粛される傾向が出ている（他に分類されない各種商品小売、大阪府） ・ 仕入れに関しては中国生産に納期遅れが生じており、商品の調達に不安がある（男子服小売、奈良県）
運輸・倉庫	・ 学校給食の停止により既に売り上げは減っている（一般貨物自動車運送、兵庫県） ・ 貿易の物量が減少している（その他の運輸に付帯するサービス、兵庫県） ・ 輸出入含め物流ストップからの業界停滞。また、感染対策による作業遠隔操作（在宅作業）がうまく機能していない（一般貨物自動車運送、大阪府）
サービス	・ 外出自粛による入園者数減、特に団体入園者数の大幅減によるダメージは大きい（公園・遊園地、兵庫県） ・ 景気の悪化により企業がシステム導入を見送る傾向が出てくる（ソフトウェア、和歌山県） ・ 予約の数よりもキャンセル数の方が多く、目先はこれまでに経験をしたことがない最悪の状況（旅館、大阪府）

【 内容に関する問い合わせ先 】

(株) 帝国データバンク 神戸支店情報部
TEL 078-331-7024 FAX 078-393-2734

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。